

「スポーツ推進委員退いて」

市議に教育長が“圧力”

太宰府市 体育館建設費減額に絡み

総合体育館建設の基

本・実施設計費が3月議会で減額された太宰府市で、減額に賛成した市議に対し関敏治教育長らが「スポーツ推進委員（旧体育指導委員）をひいてほしい」と要請したことが27日、分かった。退任を迫る理由を文書で示すよう求めると要請を撤回したが、議会からは「露骨な嫌がらせだ」と反発の声が出ている。

退任を迫られたのは

長谷川公成市議。8年間スポーツ推進委員を務め、日曜はほとんど活動している。23日に市教委教育部長から電話で「体育指導員をひいてほしい」と言われた。その場では怒りから「辞めますよ」と答えたものの何人かに相談し、文書で理由を求めた。すると26日になって「またお願いすることになりました」と教育部長に口頭で言わ

れたという。

市のスポーツ委員は任期2年で3月が改選期。長谷川市議には1月に市教委から任期延長の申し出があり受諾していた。退任を迫ったことについて関教育長は「スポーツ施策を推進する立場から疑問を感じた。体育館建設などがうまく行かなくなると思った。議会でのことは関係ない」と言う。

しかし、長谷川市議

によると、関教育長は3月議会閉会後の懇親会で「あなた体育指導委員のくせに、なぜ体育館建設に反対するのか」と非難したという。長谷川市議は「嫌がらせとしか思えない。私は体育館建設に反対しているのではなく、慎重に審議をした」と言っているだけ。資料もろくに出さないと認めるとは何のためか。議会の立場と体育指導委員は何の関係もない。怒り心頭です」と話している。

【勝野昭龍】